

Monitoring the Future

未来の街に、さらなる安心・安全を

DAIWA

— Monitoring the Future —

2024年3月期第2四半期

決算説明資料

ダイワ通信株式会社 (東証スタンダード：7116)

2023年11月14日



INDEX

01 — 2024年3月期第2四半期 決算概要

02 — 2024年3月期業績予想

03 — 成長戦略の進捗

04 — APPENDIX

表記について

- 端数の処理について、単位未満を切捨て、パーセントは小数点第一位未満を切捨てとしております
- 本資料中では、構成比の数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります

1

2024年3月期第2四半期 決算概要

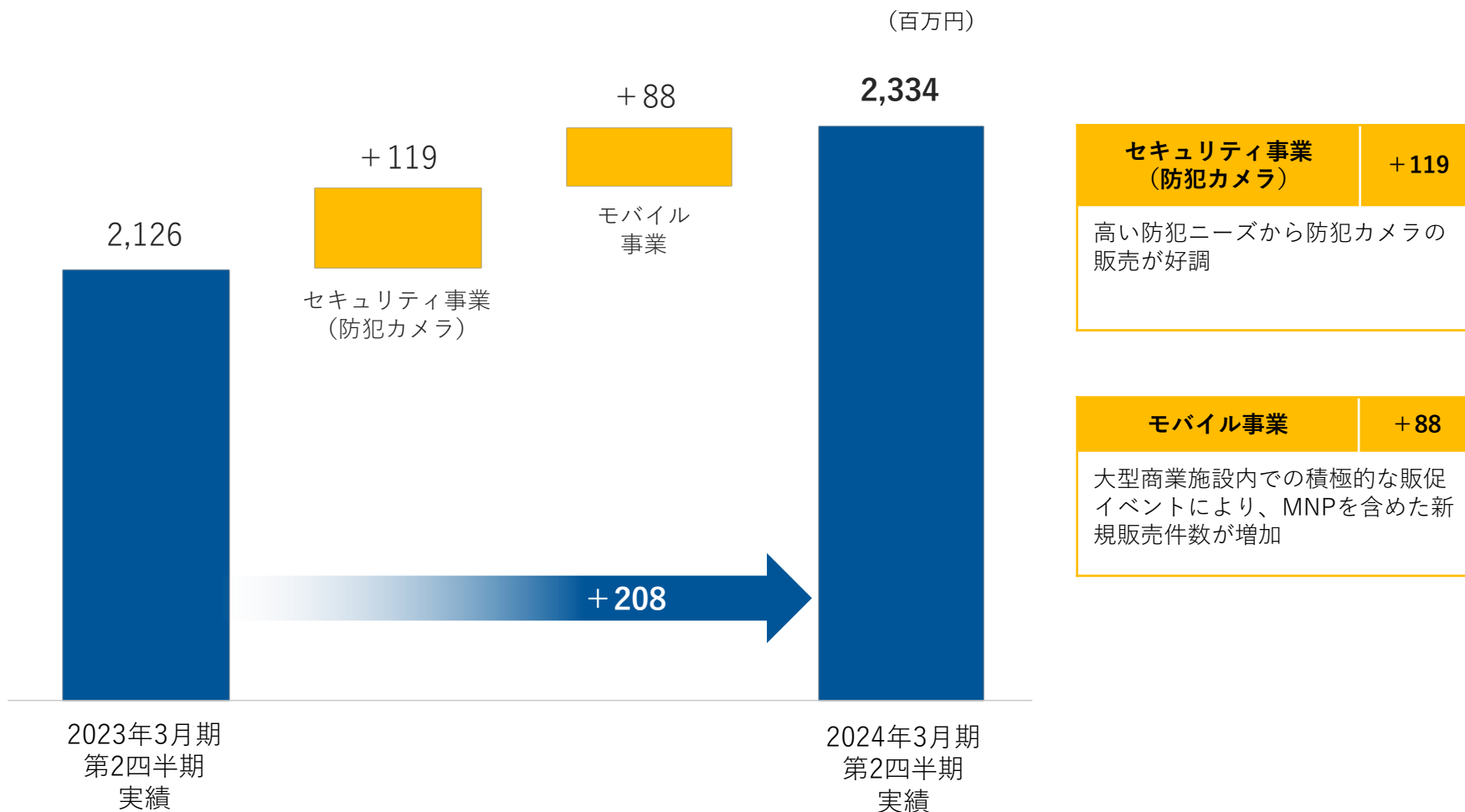
連結業績概要

- 売上高 計画及び前年比ともに上回り、増収
- 営業利益 計画に基づいた人材・開発投資の実施から、前年同期比は減益

単位：百万円	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q予想	2024年3月期 2Q実績	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	2,126	2,273	2,334	+208	+9.8%
営業利益	186	132	143	△42	△23.0%
営業利益率	8.8%	5.8%	6.1%	—	△2.6P
経常利益	184	129	140	△44	△23.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	122	84	94	△27	△22.6%
1株当たり 四半期純利益	45円09銭	31円06銭	34円91銭	—	—

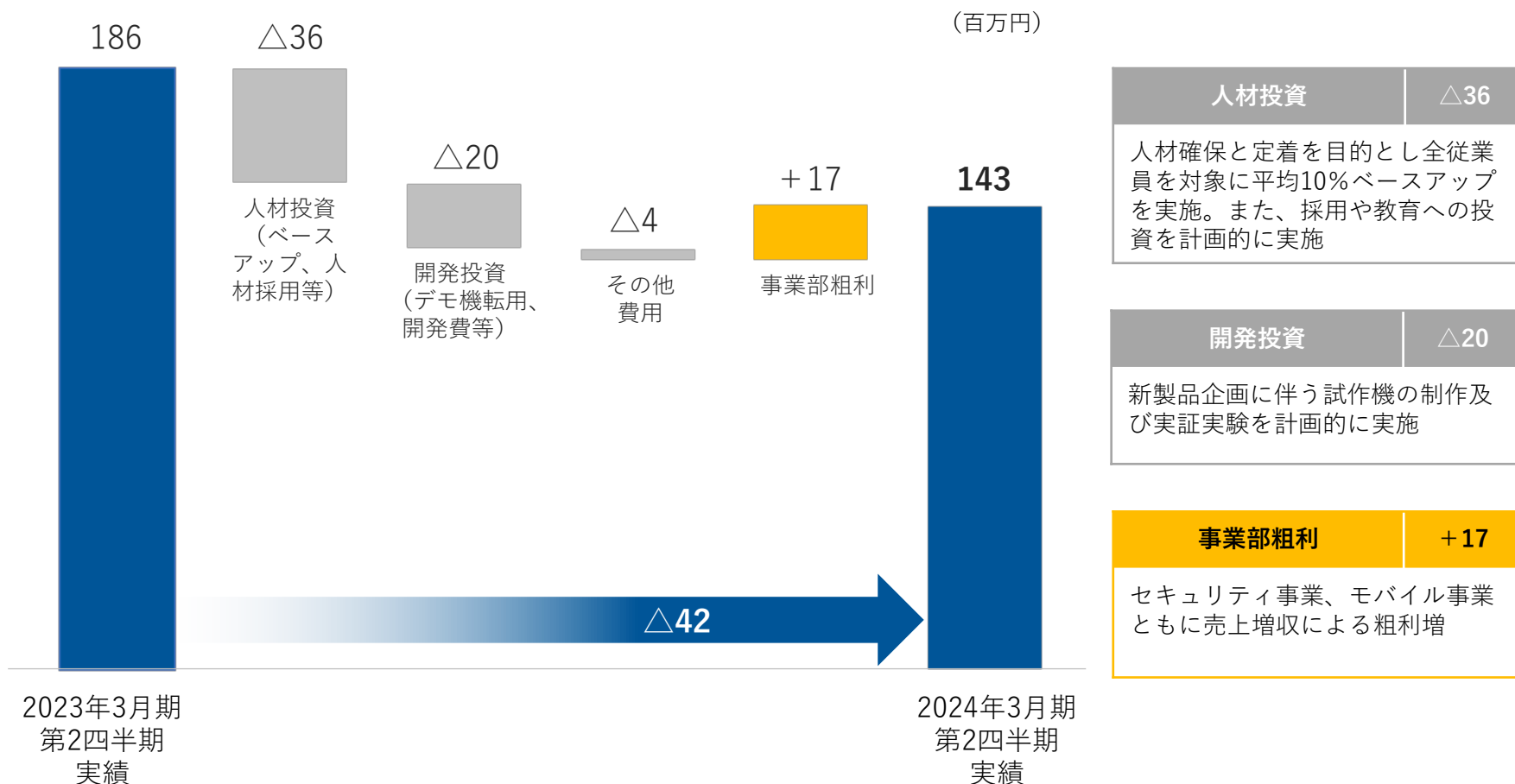
売上高 増減要因分析

セキュリティ事業、モバイル事業とも好調に推移



営業利益 増減要因分析

計画に基づく成長投資を実施のため前期同期比で減益の一方、計画比で上振れ



セグメント別業績

セキュリティ
事業

販路拡大のため戦略的な販促を実施し、また成長投資（人材、開発）の結果、前年同期比で増収減益

モバイル事業

大型商業施設内での積極的な販促イベントで、新規契約件数を確保できた結果、手数料の増加に伴い増収増益

単位：百万円	売上高				営業利益			
	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前年同期比		2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前年同期比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
セキュリティ事業 (防犯カメラ)	1,191	1,310	+119	+10.0%	215	185	△29	△13.8%
モバイル事業	928	1,017	+88	+9.6%	80	83	+3	+3.8%
その他事業	7	6	△0	△6.9%	8	7	△0	△5.8%
調整額	—	—	—	—	△116	△132	△15	—
合計	2,126	2,334	+208	+9.8%	186	143	△42	△23.0%

2

2024年3月期業績予想

2024年3月期業績予想

- 上期は、売上と利益ともに計画を上回って推移するも、期初予想は据え置き
- 下期も計画に基づき、人材への投資（増員、教育等）および新製品等の開発投資を実施し、中長期的な成長のための体制構築を図る

単位：百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 通期予想	23.3期実績/24.3期予想	
			増減額	増減率
売上高	4,818	5,173	+ 354	+ 7.4%
営業利益	394	455	+ 61	+ 15.5%
営業利益率	8.2%	8.8%	—	+ 0.6P
経常利益	370	447	+ 76	+ 20.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	242	292	+ 49	+ 20.3%
1株当たり 当期純利益	89円70銭	107円91銭	—	—

セグメント別業績予想

セキュリティ
事業

下期も計画に基づいた成長投資を行いつつ、
売上と利益は計画通りの着地を目指す

モバイル事業

下期も販促イベントから新規契約の獲得を図り、また顧客ニーズに
適した提案から収益を確保し、計画通りの着地を目指す

単位：百万円	売上高				営業利益			
	2023年 3月期実績	2024年 3月期予想	前期比		2023年 3月期実績	2024年 3月期予想	前期比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
セキュリティ事業	2,622	3,025	+402	+15.4%	419	518	+98	+23.5%
モバイル事業	2,182	2,133	△48	△2.2%	214	204	△9	△4.6%
その他事業	14	14	+0	+0.0%	16	16	+0	+0.0%
調整額	—	—	—	—	△255	△283	△27	—
合計	4,818	5,173	+354	+7.4%	394	455	+61	+15.5%

3 成長戦略の進捗

4つの戦略と今期の取り組み

戦略①

営業拠点の増設と人員の増員

今期の取り組み

- 11月に営業拠点を2拠点開設

戦略②

ソリューションの提供強化

- 各製品の実用化に向けた開発を実施

戦略③

新領域への展開 (デベロッパー等への営業展開)

- 建設業界にクラウドを用いたカメラシステムを提案

戦略④

商品倉庫兼実験・研究施設の建設

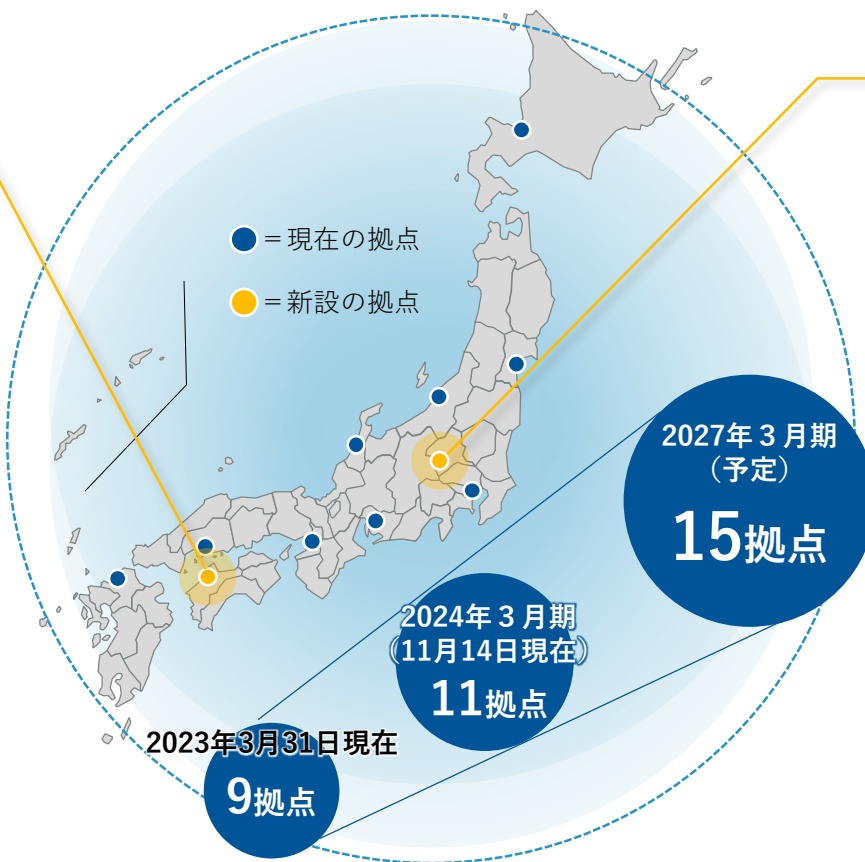
- 施設の竣工に向け、取組みを継続

戦略① 営業拠点の増設と人員の増員

関東と四国に新たな営業拠点を新設し、営業網を拡充

松山オフィス (愛媛)

- 愛媛県は当社未開拓の地域（香川県は既に大阪オフィスで営業展開済）
- 愛媛県は四国4県中、最も人口が多い県だが、人口10万人当たりの警察官数は四国で最少。一方で人口10万人当たりの防犯ボランティア数は少なく、防犯に対する意識は四国でも高い傾向にあると予測



高崎オフィス (群馬)

- 関東地区の北側及び長野県までを含めた関東内陸部を深耕するための拠点に
- 内陸部への営業はこれまで東京オフィスや新潟オフィスから行っていたが、移動時間の長さなどで課題があった。今回の出店で課題解決を図る
- なお、群馬県および長野県での商品納入実績はあり

戦略② ソリューションの提供強化

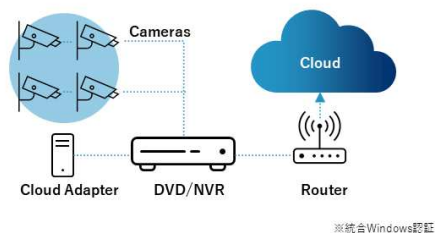
無人AIスマートストアの実用化に向け、産学連携から過疎地域における無人AIスマートストアの活用に向けた取組みを実施中

既存カメラシステムにAI（画像解析）機能付加できる「IWA BOX」を発売し、安全管理の強化や遠隔監視ニーズへの対応に取り組む

無人AIスマートストア／ニーズへの対応



防犯カメラシステム／クラウドへの対応



AI/IoT
システム

迷惑行為検知AIシステム／商品化



自動化システム／省人化への対応

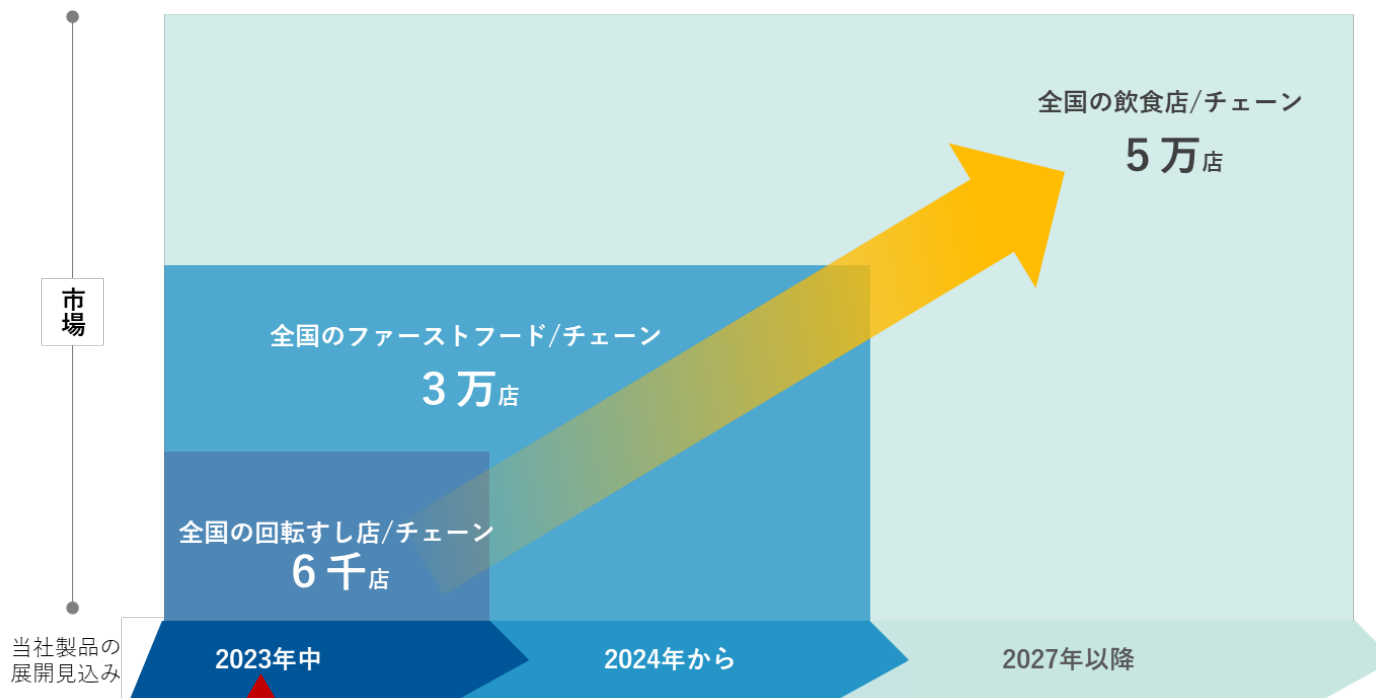


など

回転すし店向け迷惑行為検知AIシステムにおける1st Phaseの開発が完了し、実店舗での実証実験に移行済（2nd Phase）

戦略② ソリューションの提供強化／迷惑行為検知AIシステム

迷惑行為検知AIシステムのターゲット市場規模



東京都内の回転すしチェーン店で実証実験を開始

行動検知
内容



- 回転すしレーン上の皿を検知

① 食べ終わった皿を手で戻す行動 ② レーン上の皿からすしのみを直接手で取る行動 ④ レーン上の皿からすしのみを、直接橋で取る行動



- 座席上の醤油

(高さまたは顔との距離)を検知
醤油に対する不信な行動

4 | **APPENDIX**

Who We Are

Monitoring the Future

— 人を想う、心のこもったSafe Cityの実現を目指して

Security

Safety

セキュリティ
事業

モバイル
事業

Convenience



会社概要



社名 ダイワ通信株式会社

所在地 石川県金沢市入江二丁目180番地

創業 1996年4月（設立 2016年3月）

資本金 100百万円（2023年3月31日時点）

許認可、免許及び登録等

【古物商】

2016年9月 第511090013113号

【建設業許可 石川県知事】

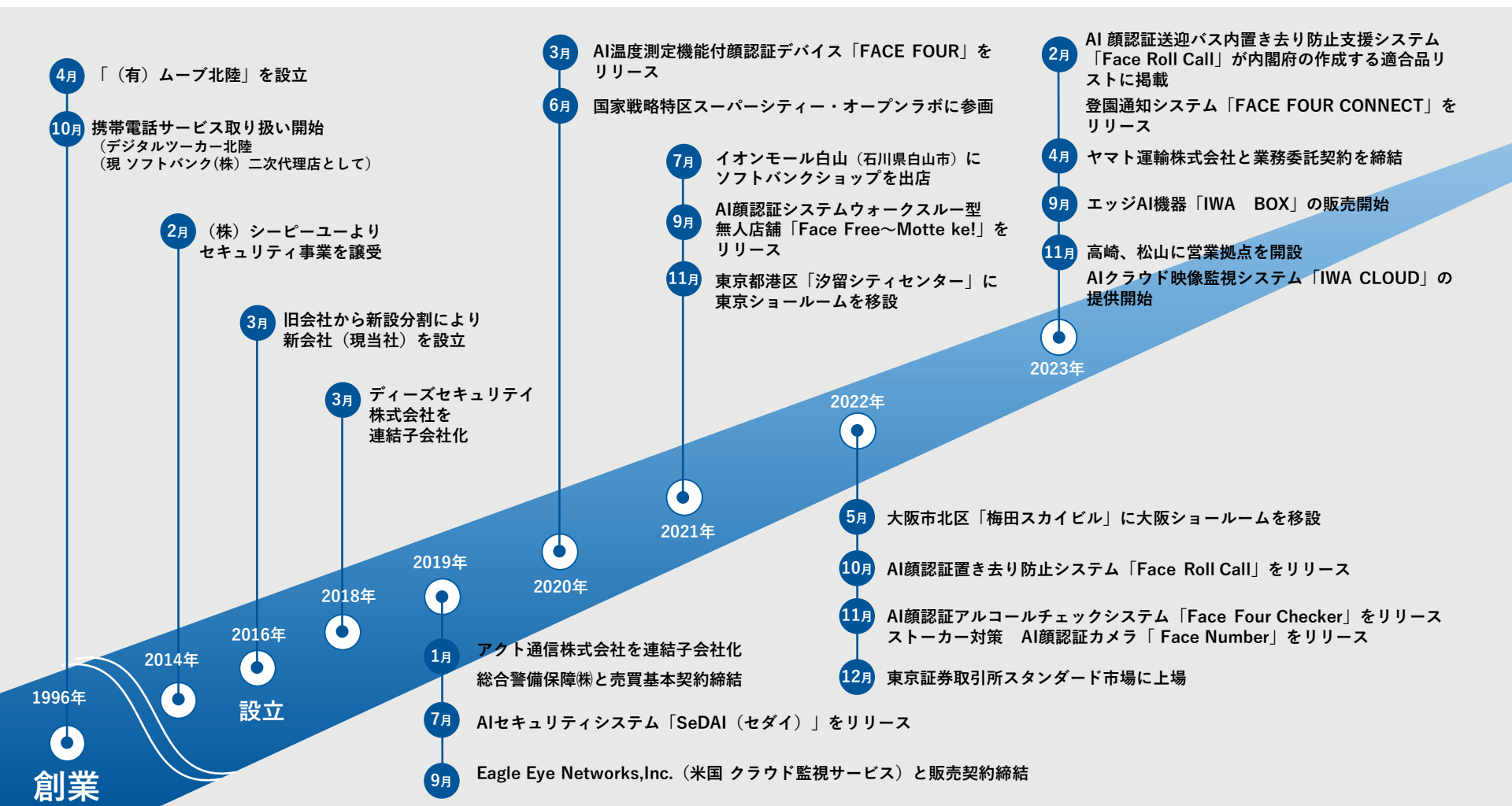
2021年8月 電気通信工事業（般-3）第18428号

2021年8月 電気工事業（般-3）第18428号

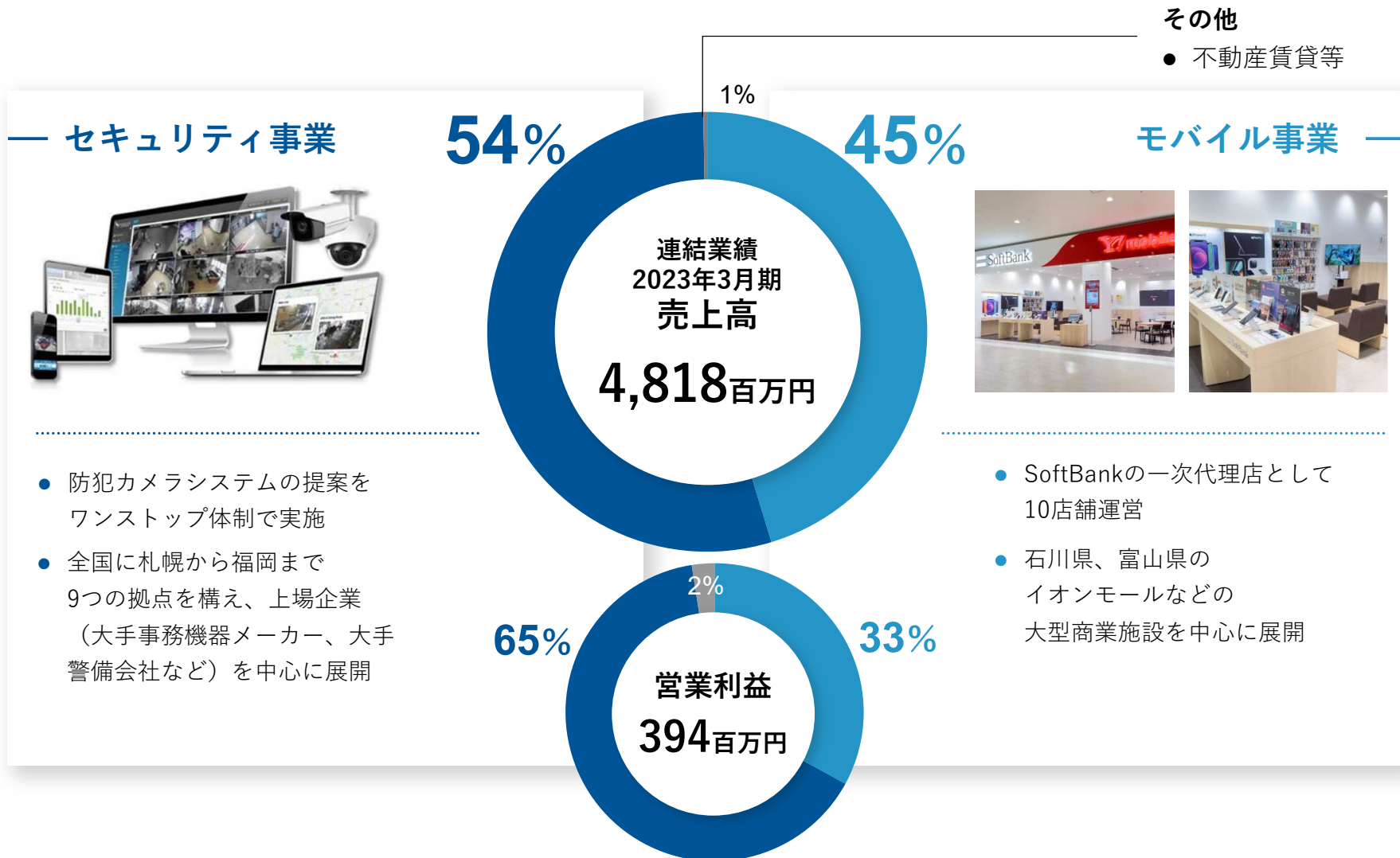
役員構成	代表取締役社長	岩本 秀成
	専務取締役	隈田 佳孝
	常務取締役	前田 憲司
	取締役	多賀 勝用
	社外取締役	米沢 寛
	社外取締役	木村 基之
	社外監査役	岡本 誠
顧問	社外監査役	宮川 昌江
	社外監査役	武部 勝
顧問	アドバイザー	竹中 平蔵
売上高	4,818百万円（2023年3月期）	
従業員数	114名（2023年3月31日現在）	
事業内容	セキュリティ事業部	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラの開発／販売／施工／保守 AI顔認証温度検知システムの開発／販売 AIロボットの企画／開発／販売／保守 入退室管理システムの開発／販売 機械警備システムの販売 通信・OA機器の販売 ネットワーク設計／構築／LAN工事 ITソリューション
	モバイル事業部	<ul style="list-style-type: none"> 移動体通信機器の販売（各種スマートフォン） 各種周辺機器の販売（アクセサリ類）
営業拠点	オフィス	東京、大阪、名古屋、北陸、札幌、仙台、新潟、高崎、広島、松山、福岡 11拠点

成長の軌跡

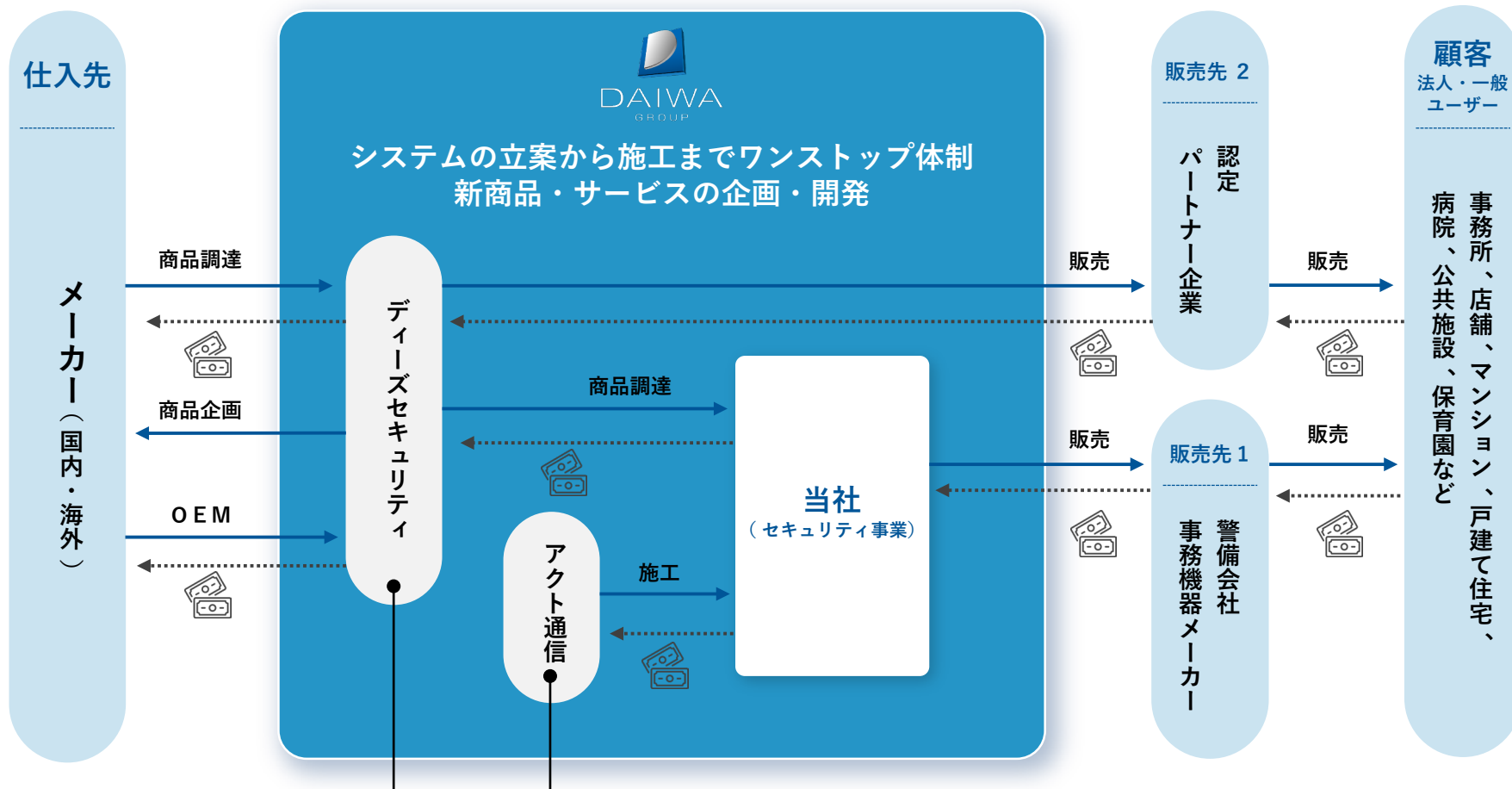
モバイル事業をベースに、セキュリティ事業に領域拡大



2つの事業



セキュリティ事業 ビジネスモデル




ダイズセキュリティ株式会社 (連結子会社)

- ・ 監視カメラ及びその周辺機器の商品調達・商品企画
- ・ 認定パートナー制度の運営と管理

アクト通信株式会社 (連結子会社)

- ・ グループ内のセキュリティ事業に係る監視カメラの据付工事の対応

 = お金の流れ

セキュリティ事業 事業概要

防犯カメラ

国内及び海外のメーカーから防犯カメラを仕入れ、販売。
オリジナルブランド「ディーズセキュリティ」や防犯カメラを用いたセキュリティシステムも開発・販売

D'SS

オリジナルブランド
「ディーズセキュリティ」



+

取扱いブランド数 **18**ブランド

AI・IoTシステム

カメラで認識される画像とAIによる解析技術を融合した商品企画。AI顔認証システム等の商品開発・販売等も行う



AIロボット



無人AIスマートストア



AI顔認証システム

セキュリティ事業 認定パートナー制度

全国に認定パートナーを設定し、幅広い分野の顧客をターゲットとして販売

認定パートナー数

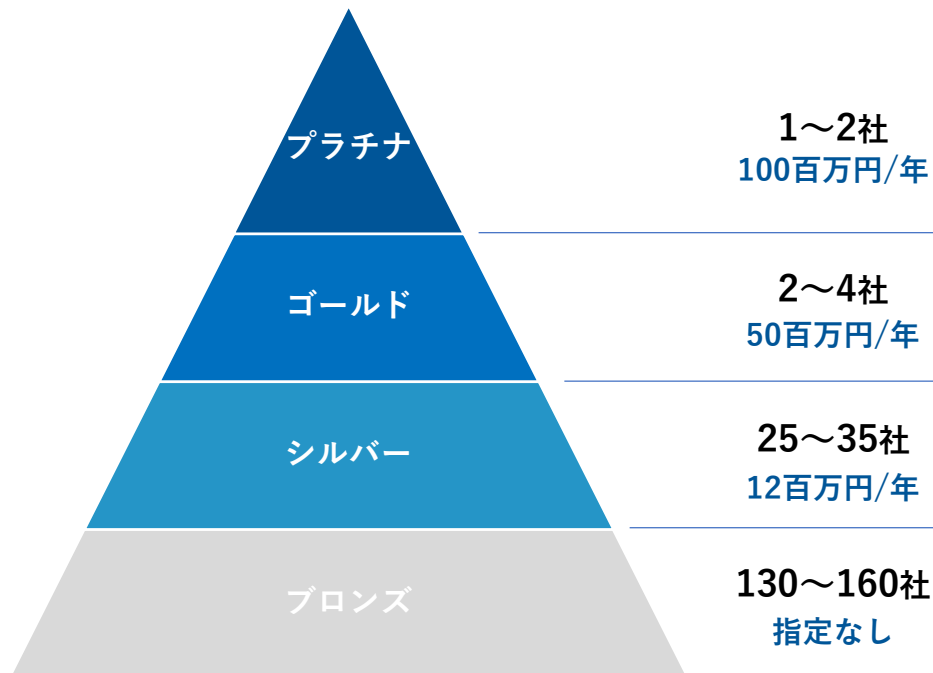
196社[※]

工務店、警備会社、事務機器卸など

- ・ パートナーは年間取引金額をコミット（ランクに応じて金額変動）
- ・ ランク毎にそれぞれ販売支援を実施し、パートナー企業と協働で顧客を確保

※2023年11月●日時点

認定パートナーのランク



販売支援（例）

営業活動支援
デモ機の特別
価格販売・貸出制度

専任営業担当者
支援

マーケティング
ツール支援

技術支援、教育
（アカデミー）支援 等

セキュリティ事業 コーディネート力

マルチベンダー体制による商品力と“つなぐ”ノウハウに裏打ちされた提案力



コーディネート力の源泉

当社は防犯カメラのレコーダーメーカーとして長年、レコーダーと様々なメーカーの防犯カメラを接続するノウハウや技術を蓄積（旧シービーユーからの知見）。この“つなぐ”力を様々な顧客ニーズに対する柔軟な提案に応用し、他社との差別化に



様々な現場に柔軟に対応できる提案に応用

工事現場遠隔監視システム

店舗サービス遠隔管理システム

ライブ手術中継システム

モバイル事業 ビジネスモデル



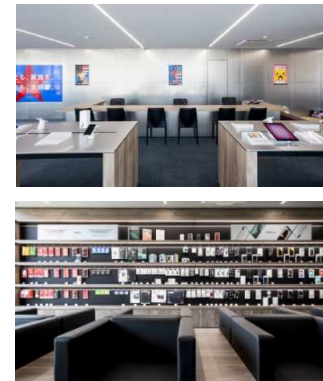
ソフトバンクの一次代理店として、北陸地区に限定した店舗「ソフトバンクショップ」を展開。集客力に富んだイオンなどのショッピングモールなど石川県、富山県で10店舗を運営

一般ユーザーに対し、携帯電話端末ならびにアクセサリを販売し、またソフトバンクのサービスを提供

- ・ イオンモールかほく
 - ・ 金沢おこばた
 - ・ 入江
 - ・ イオンモール白山
 - ・ イオンモール高岡
 - ・ ラスパ白山
 - ・ アピタ松任
 - ・ プラント 3川北
 - ・ 笠舞
 - ・ イータウン射水
- SoftBank



ソフトバンク イオンモール高岡 (Y!mobile取扱店)



ソフトバンク 入江 (Y!mobile取扱店)

モバイル事業 安定収益を生み出すショップ運営と人財育成

効率的な集客を 目指した店舗配置

国道8号線を軸に 店舗配置を実施



ショッピングモールの 集客力を活用した イベント



高品質なサービスを 目指したキャリア 資格保有者※の育成

※ソフトバンク資格認定制度

29名 が資格取得
34名中 (2023年3月時点)



ディスクロージャーポリシー

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

DAIWA

Monitoring the Future

未来の街に、さらなる安心・安全を

ホームページのご案内

当社ホームページでは、
投資家情報、製品情報など
各種情報を随時更新しています。

